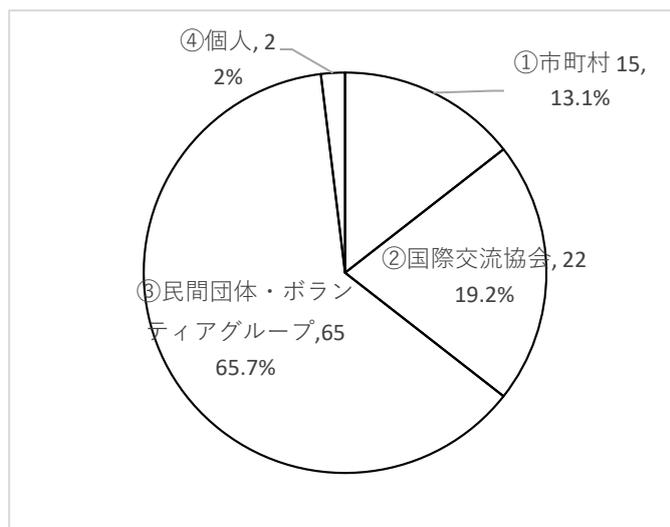


外国人住民の日本語学習に関する調査(日本語教室)

◆日本語教室の概要について

※回答数 102教室

問1 主催団体(複数回答あり)



※複数の団体で主催している教室があるため、合計は教室数と一致しない。

問2 国籍別学習者数

総数 3,169人

(内訳)

中国	1052	33.2%
ベトナム	696	22.0%
フィリピン	249	7.9%
韓国	67	2.1%
ブラジル	60	1.9%
ネパール	100	3.2%
ペルー	52	1.6%
タイ	94	3.0%
台湾	102	3.2%
インドネシア	136	4.3%
その他	561	17.7%

問3 スタッフ数

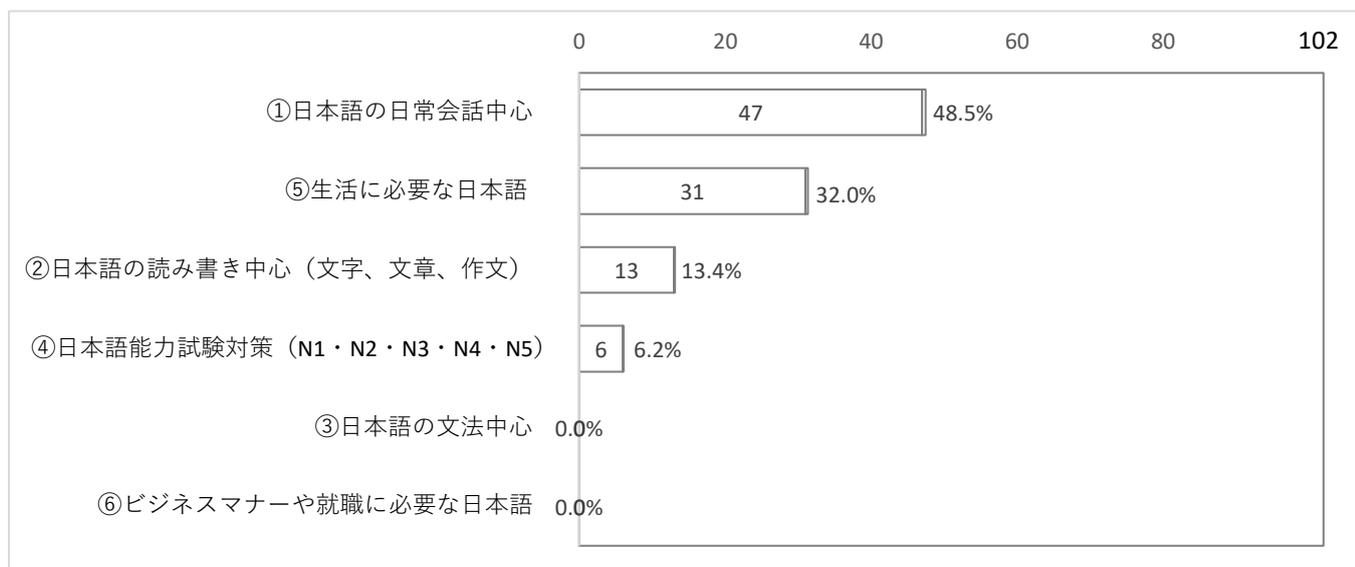
日本語指導スタッフ 1,619人

(内訳)

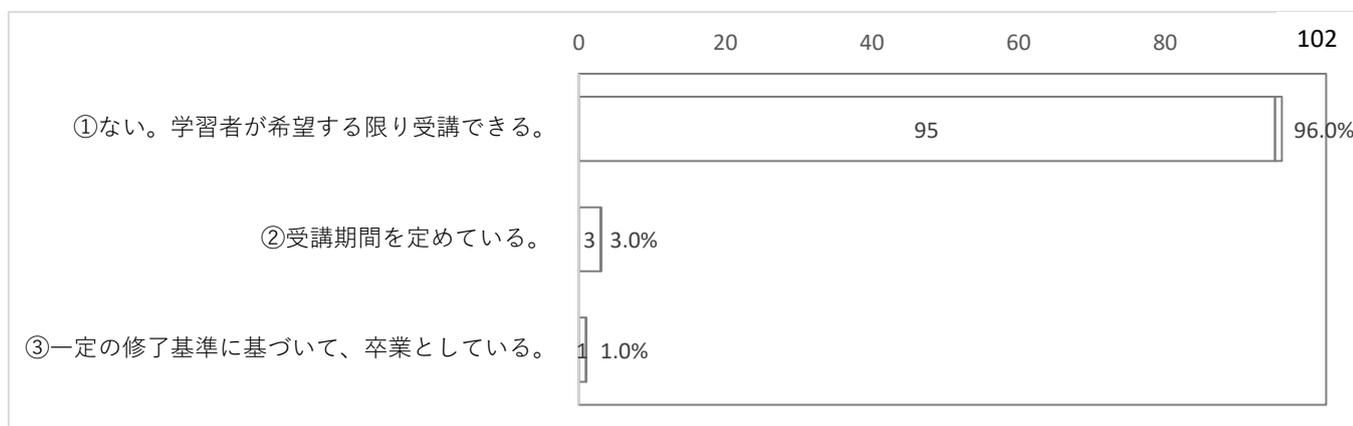
A: 日本語教育に関する専門講座を修了した者	187	11.6%
B: 日本語教育能力検定試験に合格した者	55	3.4%
C: その他	761	47.0%
(不明)	616	38.0%

◆活動内容について

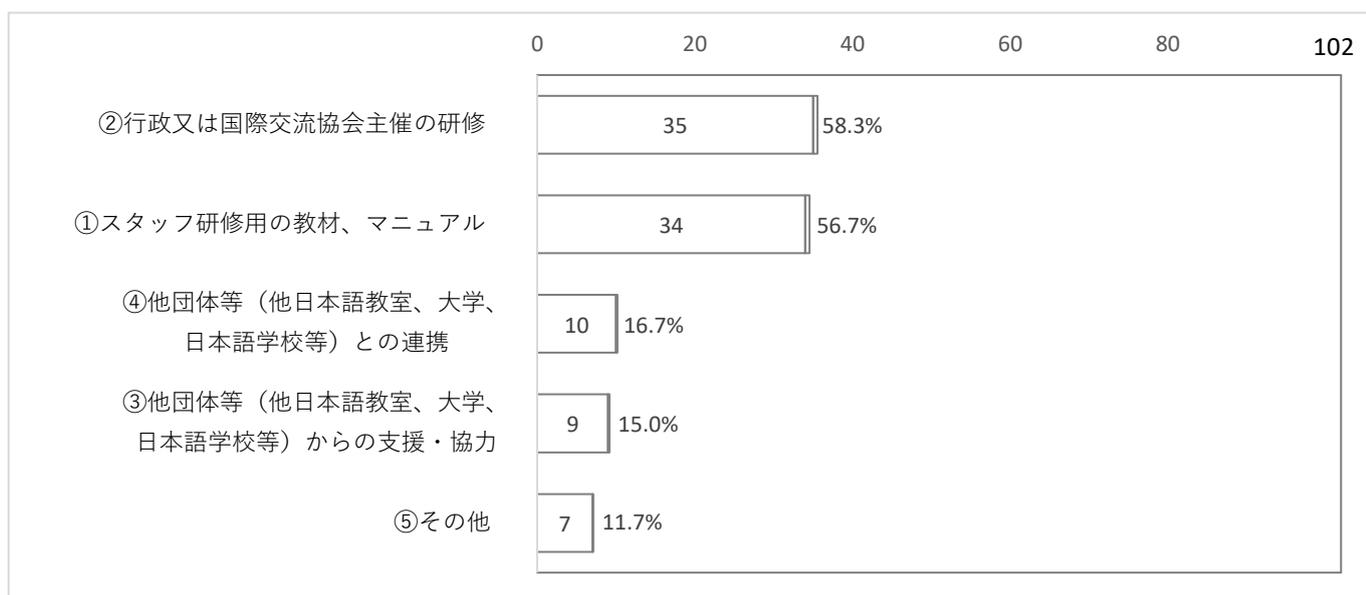
問4 日本語学習について、特に重視して取り組んでいるものは何ですか。(1つのみ回答)



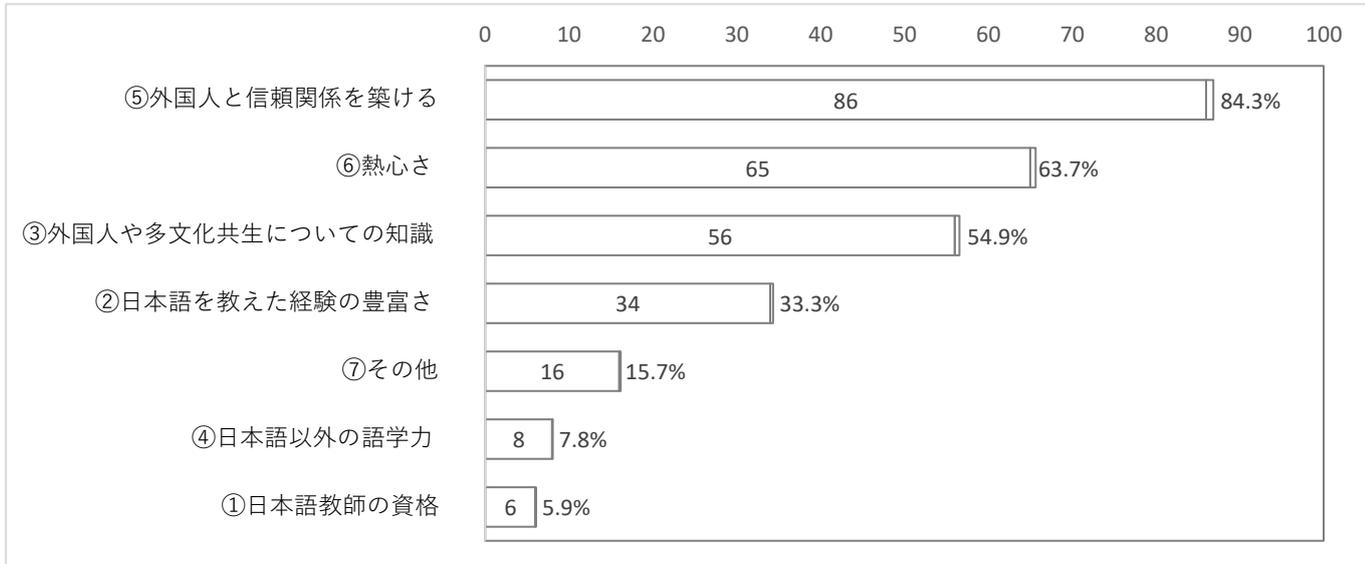
問5 教室には、終了(卒業)の基準がありますか。(1つのみ回答)



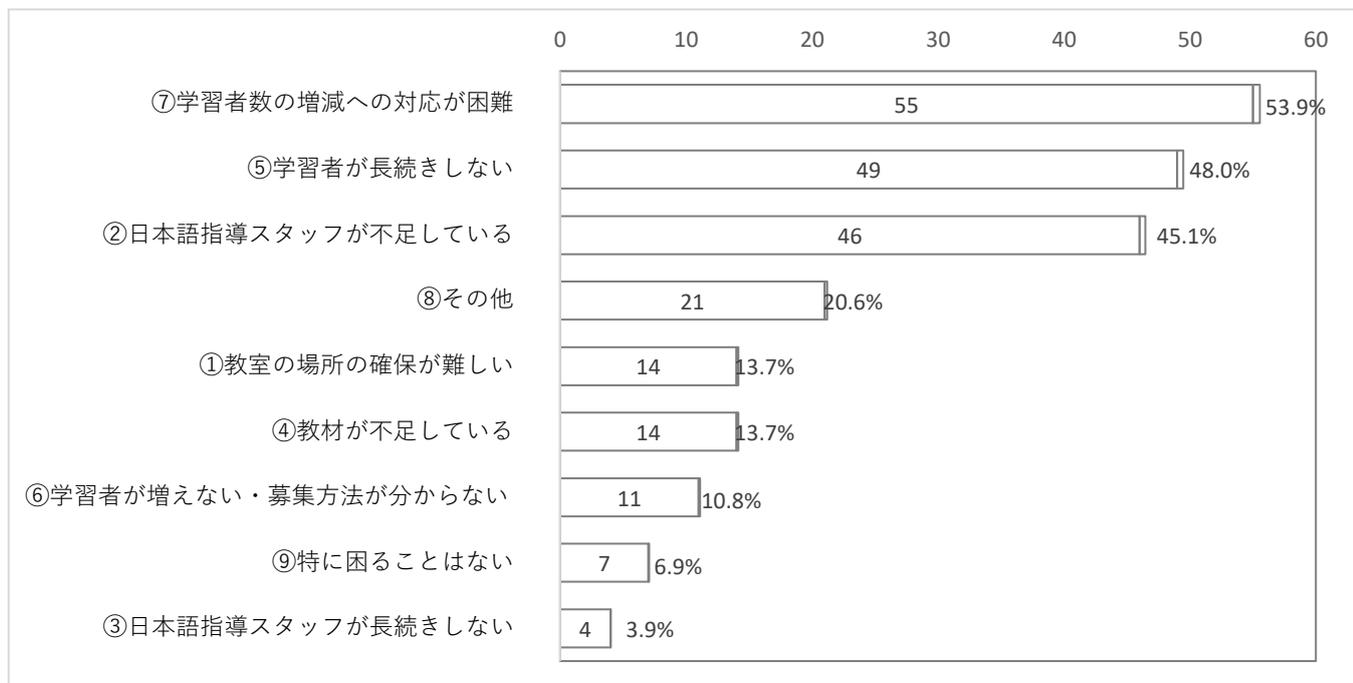
問6 日本語指導スタッフのスキルアップのために有益と思われるものは何ですか。(1つのみ回答)



問7 日本語指導スタッフに求める能力や姿勢などについて、重要なものは何ですか(3つまで回答)

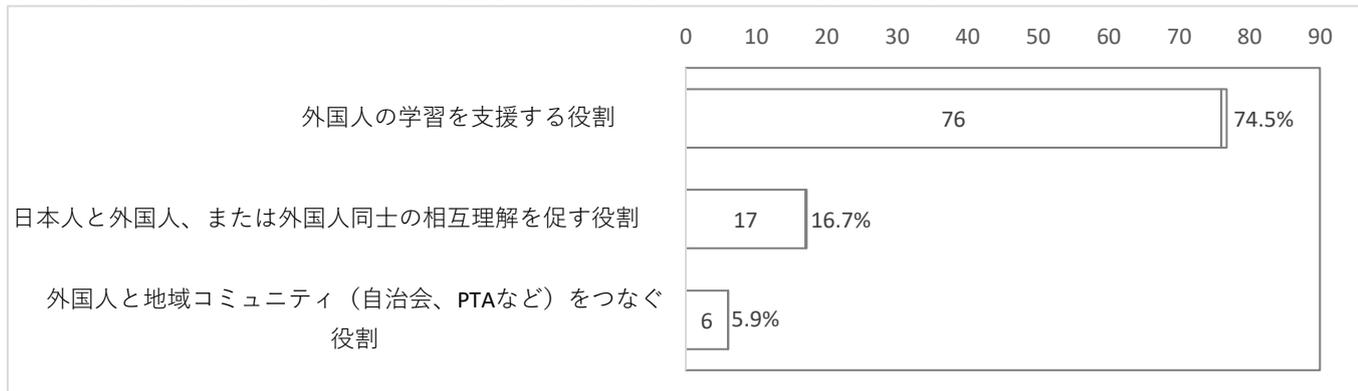


問8 教室の運営などで困っていることはありますか。(3つまで回答)

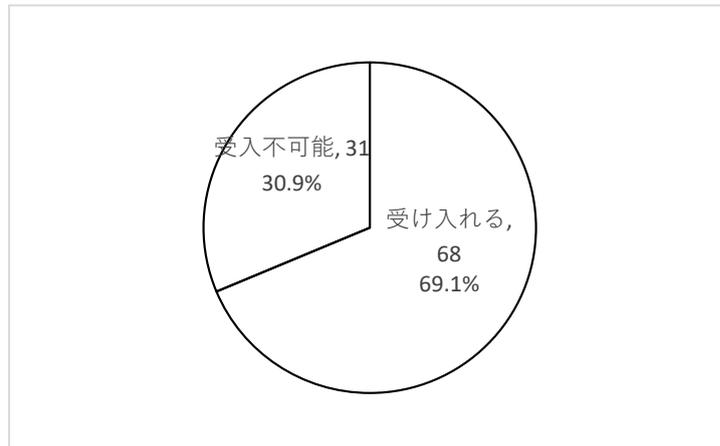


◆今後について

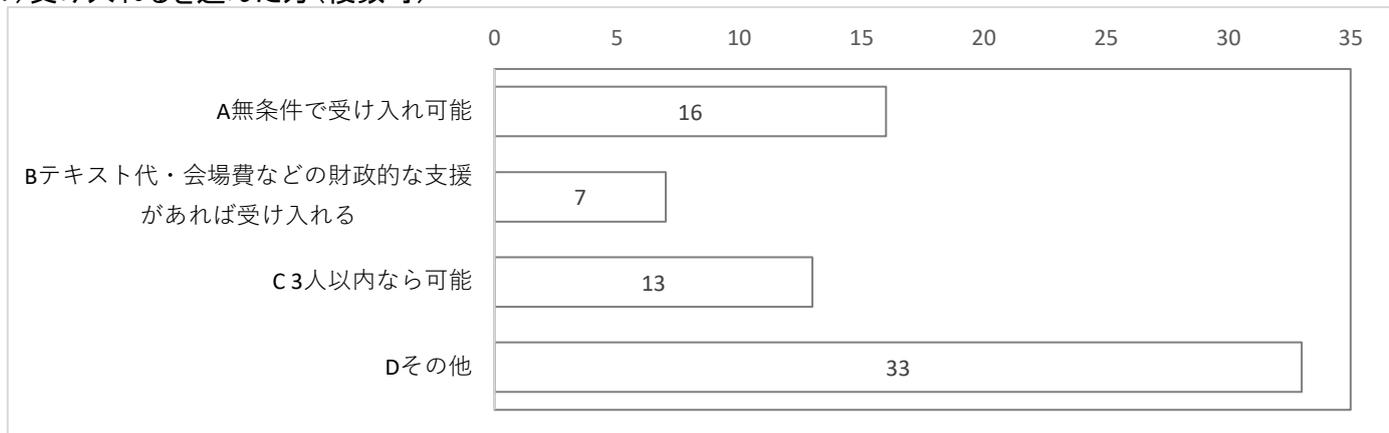
問9 今後、日本語教室が担っていく役割で重要と思われるものは何ですか。



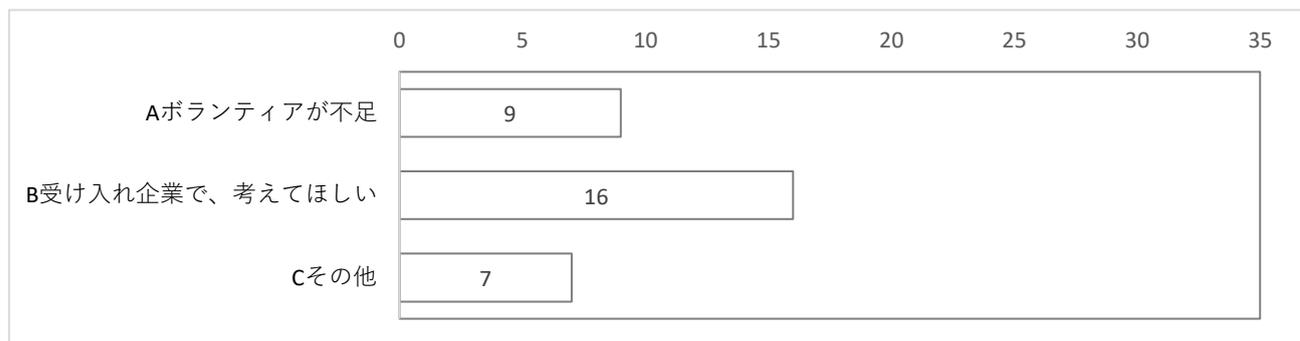
問10 今後、企業から研修生の受け入れを頼まれた場合どうしますか。



(1) 受け入れるを選んだ方(複数可)



(2) 受入不可能を選んだ方(複数可)



問11 今後、地域の日本語教室について行政に期待することは何ですか。(3つまで回答)

